



小松ウオール工業株式会社 | 東証プライム 7949

2024年3月期 決算概要説明

2024年5月23日

■ 事業概要	2
■ 2024年3月期 決算概要	9
■ 2025年3月期 業績予想	15
■ 中期経営計画進捗	19

2024年3月期 決算概要説明

事業概要

社名	小松ウオール工業株式会社
代表取締役社長	加納 慎也
設立	1968年1月
上場市場	東証 プライム (7949)
事業内容	可動間仕切、固定間仕切、トイレブース、移動間仕切、ロー間仕切の製造、設計、販売、施工等
売上高	435億円 (2024年3月末)
従業員数	1,353名 (2024年3月末)
本社	石川県小松市工業団地1丁目72番地
営業拠点	全国53支店 (2024年3月末)

主要製品 売上高構成比

可動間仕切

売上高 18,316 百万円
構成比 42.1 %



固定間仕切

売上高 9,184 百万円
構成比 21.1 %



トイレブース

売上高 8,033 百万円
構成比 18.4 %



移動間仕切

売上高 5,963 百万円
構成比 13.7 %



ロ一間仕切

売上高 641 百万円
構成比 1.5 %

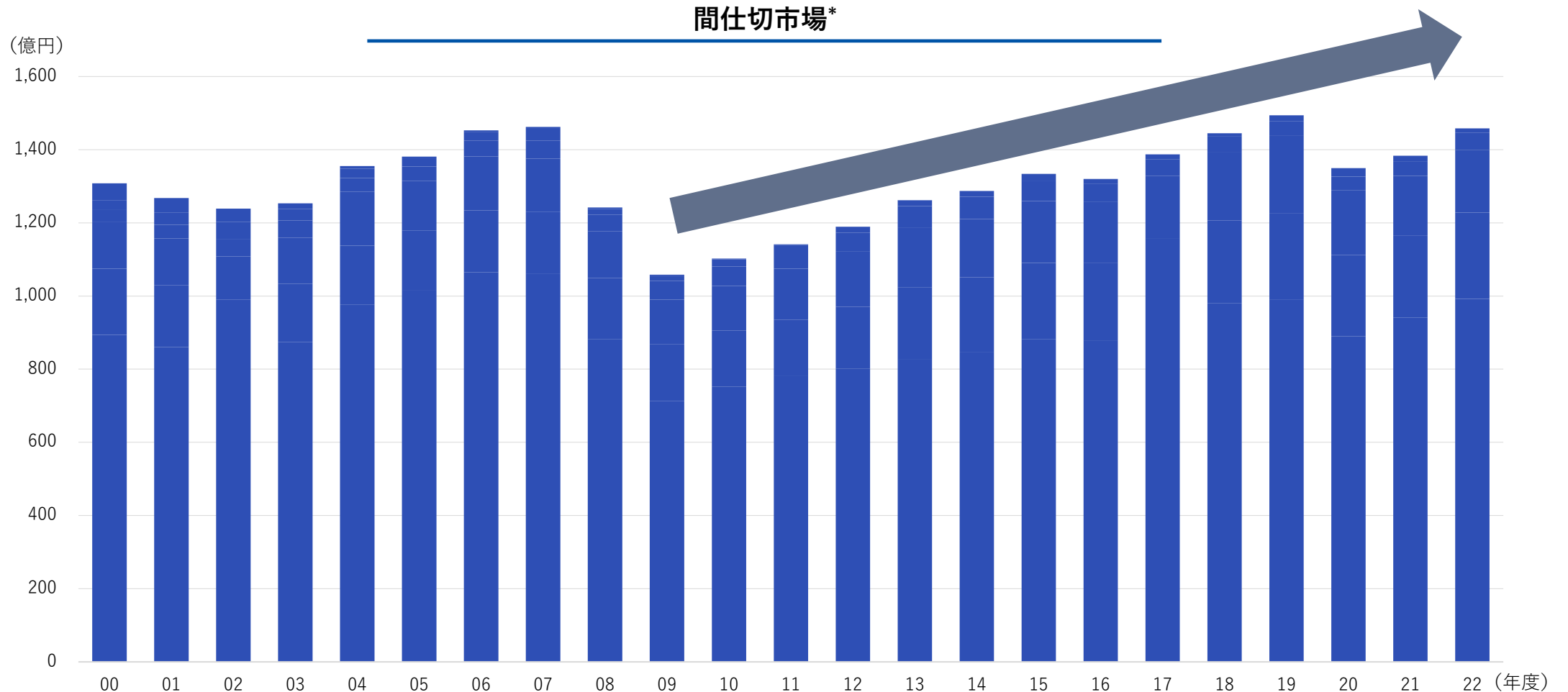


売上高

43,551

百万円
(2024年3期)

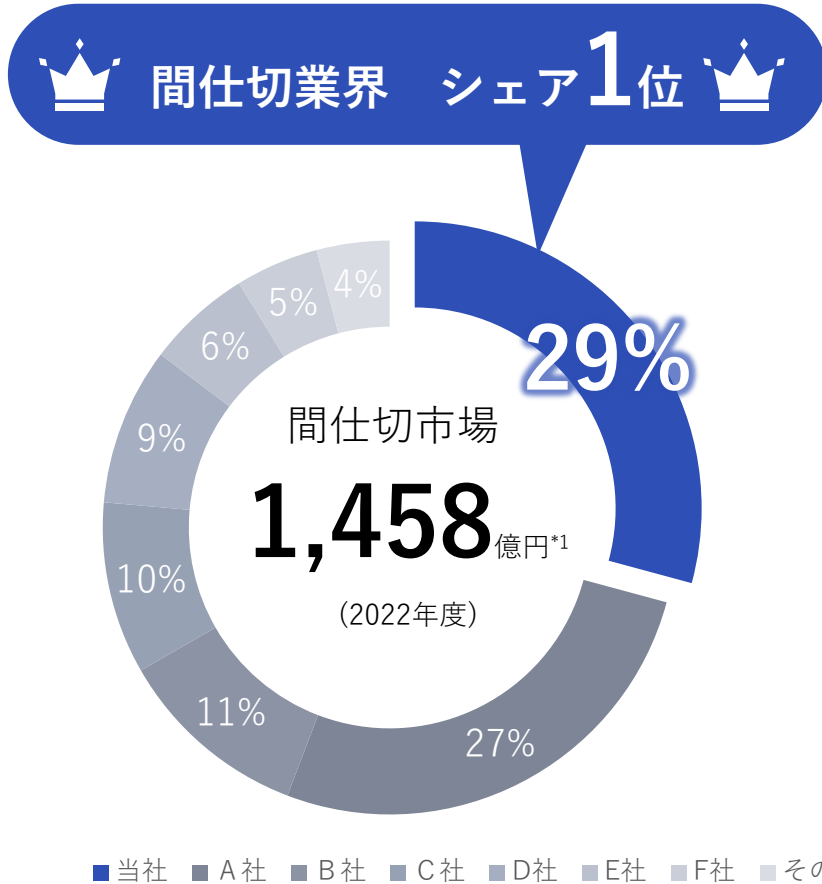
- 2008年度のリーマンショックによる減少後は着実に回復、コロナ禍での一時的な落ち込みがあったが、2022年度は1,458億円の販売高
- 東京再開発などの案件もあり、当中期経営計画期間中もオフィスビル向けを中心に堅調な増加を予想



* 日本パーティション工業会に属する間仕切メーカー10社の販売高合計

当社のポジション

■ 間仕切市場は1,458億円、当社のシェアは業界トップの29%、市場規模の大きい可動間仕切、移動間仕切、トイレブースで高シェア



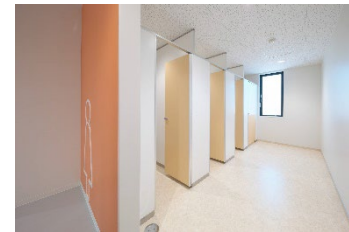
可動間仕切
27.5% シェア2位



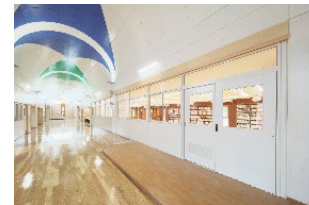
移動間仕切
36.1% シェア1位



トイレブース
34.1% シェア1位



学校間仕切
13.1% シェア4位

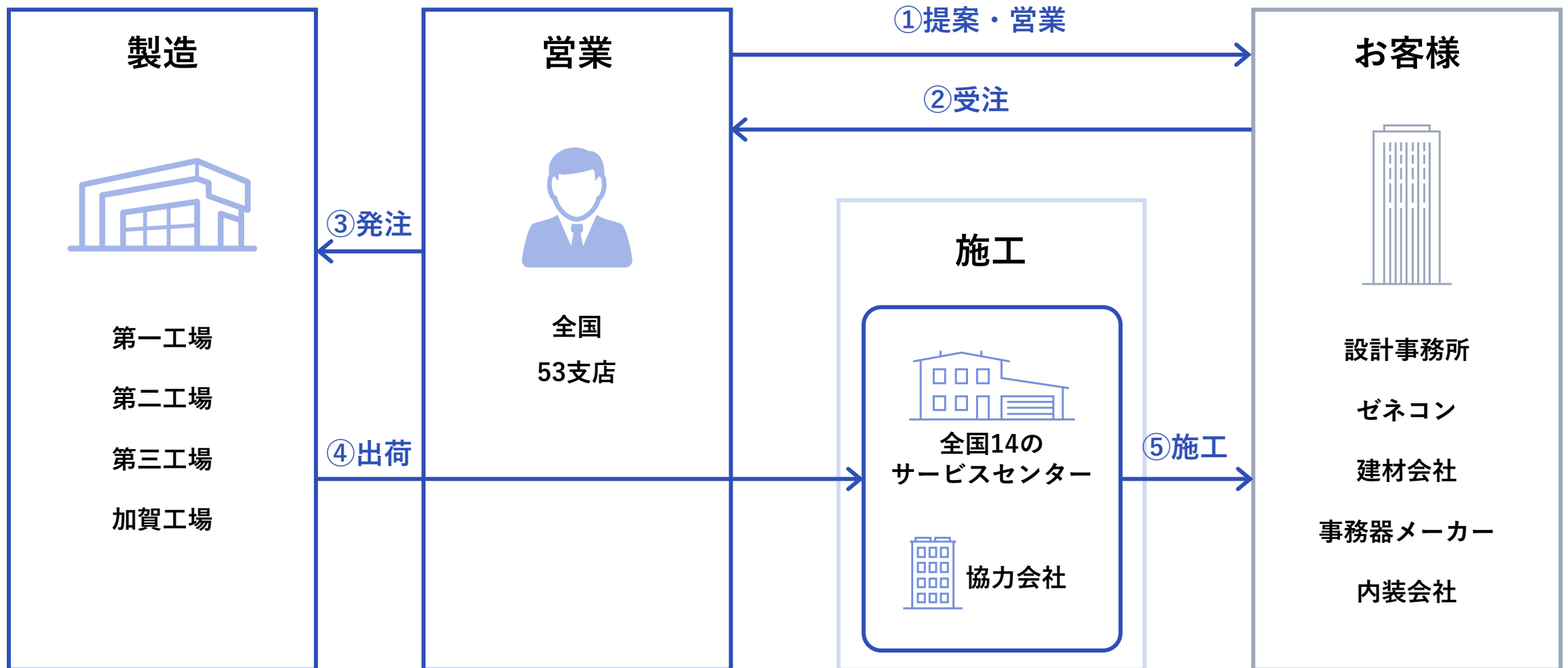


壁面化粧パネル
39.1% シェア1位



*1 当社調べ

■ 製造から施工まで当社で対応、営業は全国53支店、製造は4工場



オーダーメイド品を短納期で、全国に供給できる体制



2024年3月期 決算概要説明

2024年3月期 決算概要

決算概要

- 品目別では全品目が増収、特にオフィス向けが好調で売上高は前年同期比15%増収、従来予想比でも5%増収
- 増収を主因に営業利益は前期比58%増益、営業利益率も8.4%へ上昇。配当も前期比30円増配し125円を予定

単位：百万円	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期従来予想 (23年10月時点)		2024年3月期実績		前期比 増減率	予想比 増減率
売上高	34,541	100%	37,772	100%	41,500	100%	43,551	100%	15.3%	4.9%
営業利益	1,780	5.2%	2,306	6.1%	3,400	7.3%	3,640	8.4%	57.8%	7.1%
経常利益	1,847	5.3%	2,363	6.3%	3,470	7.4%	3,732	8.6%	57.9%	7.6%
当期純利益	1,240	3.6%	1,627	4.3%	2,320	5.0%	2,775	6.4%	70.5%	19.6%
1株当たり 当期純利益	133円76銭		175円28銭		249円44銭		298円07銭		70.1%	19.6%
1株当たり 配当金	85円00銭		95円00銭		120円00銭		125円00銭		31.6%	4.2%

品目別売上高

- 全品目で増収、特に可動間仕切はオフィスや工場向けが好調、軽量ドアなどの固定間仕切とトイレブースも値上げ効果や競争緩和により増収
- 受注残は可動間仕切と移動間仕切が減少、可動間仕切は新築ビル向けの受注がやや減少、移動間仕切は前期に大型の受注があった反動

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期					
	実績	実績	前期比増減率	受注高	前期比増減率	受注残高	前期比増減率
売上高	37,772	43,551	15.3%	43,684	8.7%	16,679	0.8%
└ 可動間仕切	15,654	18,316	17.0%	18,173	10.4%	4,054	△3.4%
└ 固定間仕切	7,958	9,184	15.4%	9,902	21.5%	5,024	16.7%
└ トイレブース	7,014	8,033	14.5%	8,040	4.7%	3,138	0.2%
└ 移動間仕切	5,395	5,963	10.5%	5,626	△7.9%	4,056	△7.7%
└ ロー間仕切	586	641	9.4%	622	3.1%	67	△22.0%
└ その他	1,163	1,410	21.3%	1,320	10.8%	339	△21.1%

大型ショールーム開設・増床

■ 2019年から大型ショールームを強化し、大阪、東京、仙台、さらに2023年7月には名古屋ショールームを開設

→デザイン事務所や依頼企業が当社製品に直接触れることで、デザイン性に優れた高付加価値品の採用の増加につながった

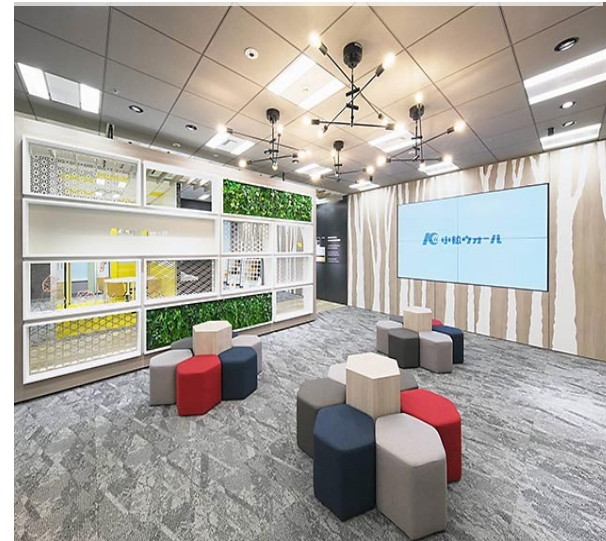
2019/11
大阪



2021/1
東京



2021/10
仙台



2023/7
名古屋



オフィス系支店の開設

- オフィスビル改修やテナントの内装変更に対応するため、事務器メーカーや内装業者向け専門の営業拠点（オフィス系支店）を設けてオフィス用途、可動間仕切需要を取り込み

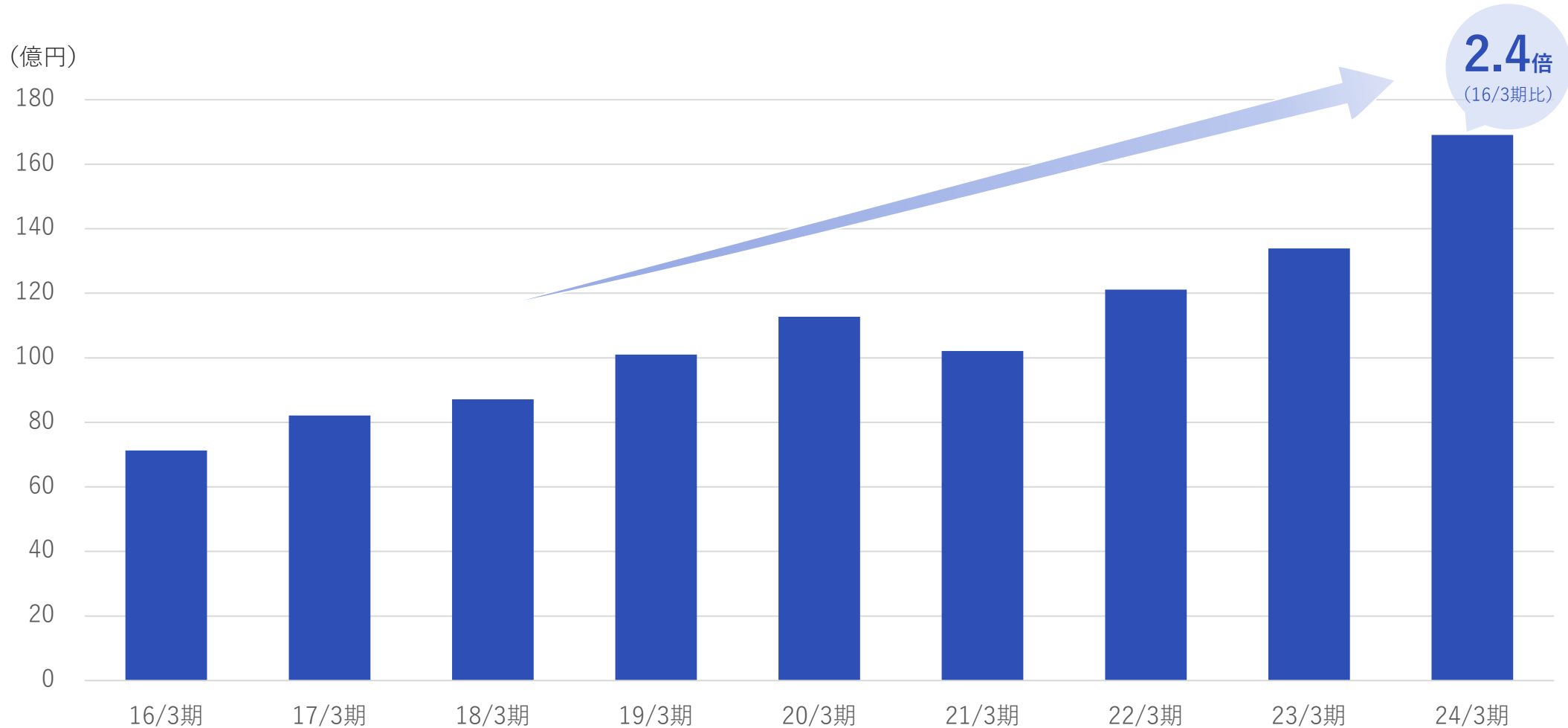
オフィス系支店 の開設

- 2016年 以前 | 大阪、東京、東京OS
- 2016年4月 | 仙台、横浜、名古屋、福岡
- 2017年4月 | さいたま
- 2017年10月 | 神戸
- 2021年10月 | 札幌、京都、大阪OS、広島



オフィス系支店開設地域の売上高推移

■ 該当地域における2024年3月期のオフィス用途売上高は2016年3月期比で2.4倍に増加



2024年3月期 決算概要説明

2025年3月期 業績予想

業績予想

- オフィスの改修需要などが引き続き堅調、病院等での軽量ドアの回復もあり、売上高は前期比6%増収を予想
- 人件費の上昇等を背景とした物流コストや資材価格上昇を見込むものの、営業利益は4%増益と引き続き増益を予想
- 引き続き純資産配当率（DOE）3%を上回る配当を実施予定で、配当は前期比5円増配の130円を予想

単位：百万円	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期 通期予想		前期比 増減率
売上高	37,772	100%	43,551	100%	46,000	100%	5.6%
営業利益	2,306	6.6%	3,640	8.4%	3,800	8.3%	4.4%
経常利益	2,363	7.0%	3,732	8.6%	3,850	8.4%	3.2%
当期純利益	1,627	4.8%	2,775	6.4%	2,850	6.2%	2.7%
1株当たり利益	175円28銭		298円07銭		306円06銭		2.7%
1株当たり配当金	95円00銭		125円00銭		130円00銭		4.0%

東京ショールームをリニューアル

■ 2024年6月に東京を増床、用途開発や新規製品の展示、訴求に注力

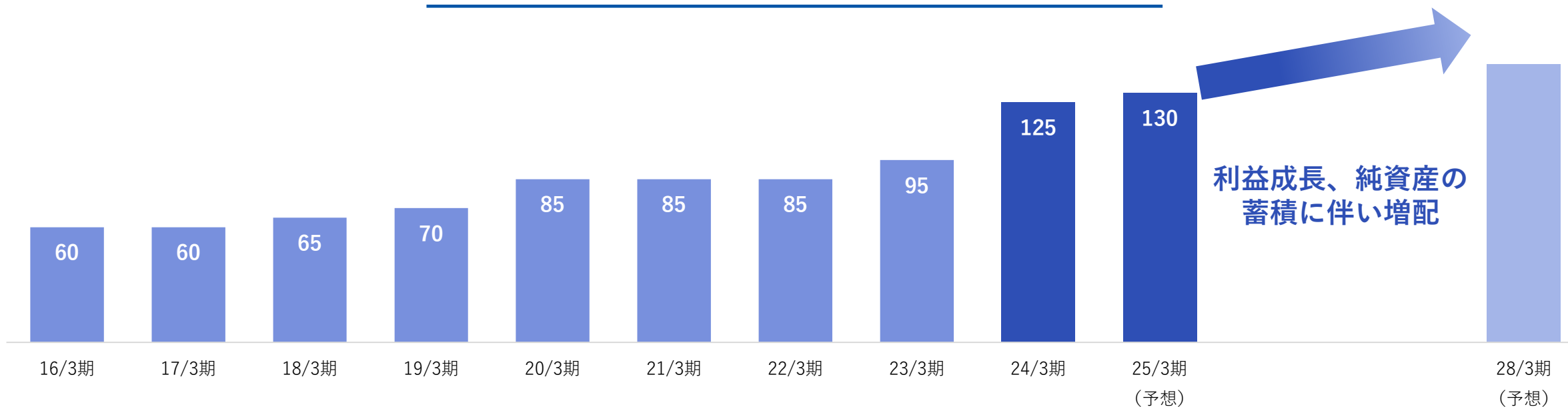


- 2023年4月に株主還元方針を変更。方針変更に基づき24年3月期は125円（DOE 3.1%）の配当を実施予定（従来予想比5円増配）
- 2025年3月期も増収増益を計画、上記配当方針に基づき5円増配の130円配当を計画

株主還元方針

純資産配当率*（DOE）3.0%を下限とする配当を実施し、
持続的な成長の実現等により配当水準の安定的向上を目指す

1 株当たり配当金推移（円）



*純資産配当率（DOE）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る1株当たり配当金/1株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100

2024年3月期 決算概要説明

中期経営計画 進捗 (2024年3月期～2028年3月期)

中期経営計画 (2024年3月期～2028年3月期)

「NEXT VISION 2028」
～ Value Up from Creativity ～

定量目標

- 2024年3月の売上高は前期比15%増収、営業利益は58%増益となり営業利益率も8.4%に改善、ROEも7.5%に上昇
- オフィス向けの好調や軽量ドア・トイレ等の価格改定により、中期経営計画1年目は計画を上回る進捗

	2028年3月期目標	2024年3月期実績
成長性 (売上高年平均成長率)	3~6% ^{*1}	15%
収益性 (売上高営業利益率)	7~10%	8.4%
効索性 (ROE)	5~8%	7.5%

*1: 2023年3月期を基準とし、2028年3月期までの年平均成長率

既存間仕切事業の成長

新規製品の創出

生産・物流オペレーションの高度化

既存間仕切事業の成長 2024年3月期進捗

- | 大型ショールームの新設⇒名古屋
2025年3月期に東京の増床、大阪の移転増床を予定
- | 移動間仕切の用途開発



新規製品の創出 2024年3月期進捗

| デザイン性を向上させた製品を開発・発売⇒意匠や家具の分野へ



Copper Series

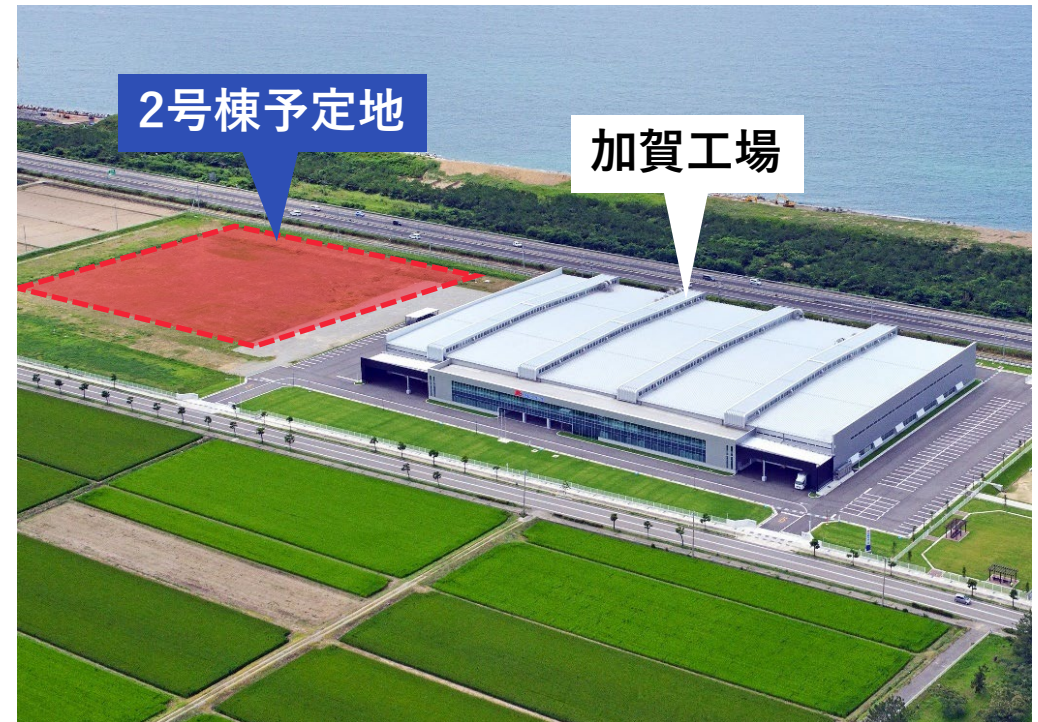


Agora

生産・物流オペレーションの高度化 2024年3月期進捗

- | 加賀工場の隣接地に新棟を建設し、第三工場の可動間仕切の一部の生産ラインを移管し、生産能力増強
- | 生産ライン移管後の空きスペースを活用し、物流体制効率化のため出荷業務体制を整備

名 称	加賀工場2号棟（仮称）
主 な 事 業	可動間仕切の製造 研究開発
投 資 金 額	約95億円
建 築 面 積	約19,000㎡
延 床 面 積	約19,700㎡
建 設 開 始 年 月	2025年2月予定
操 業 開 始 年 月	2026年6月予定



- 約95億円の投資で加賀工場第2号棟を建設予定、中期経営計画期間中の設備投資額も累計50億円以上から150億円以上に増額修正
- 2024年3月期はショールームや合理化投資に10億円、25年3月期は加賀工場2号棟建設、東京や大阪のショールームへの投資で52億円を計画

NEXT VISION 2028

既存間仕切事業の成長

新規製品の創出

生産・物流オペレーションの高度化

サステナビリティの推進

設備投資

累計

150億円

以上

ROE・効率性を意識した経営の実現に向けた対応

- 中期経営計画達成による当期純利益の拡大と、配当水準の安定的向上による純資産の増加抑制により、ROEの向上を目指す
- 2024年3月期は当期純利益が71%増の27億円となったこと、配当も30円増配の125円としたことから、ROEは7.5%（前期4.5%）へ上昇

**中期経営計画
NEXT VISION 2028**
(2024年3月期～2028年3月期)

売上高年平均成長率

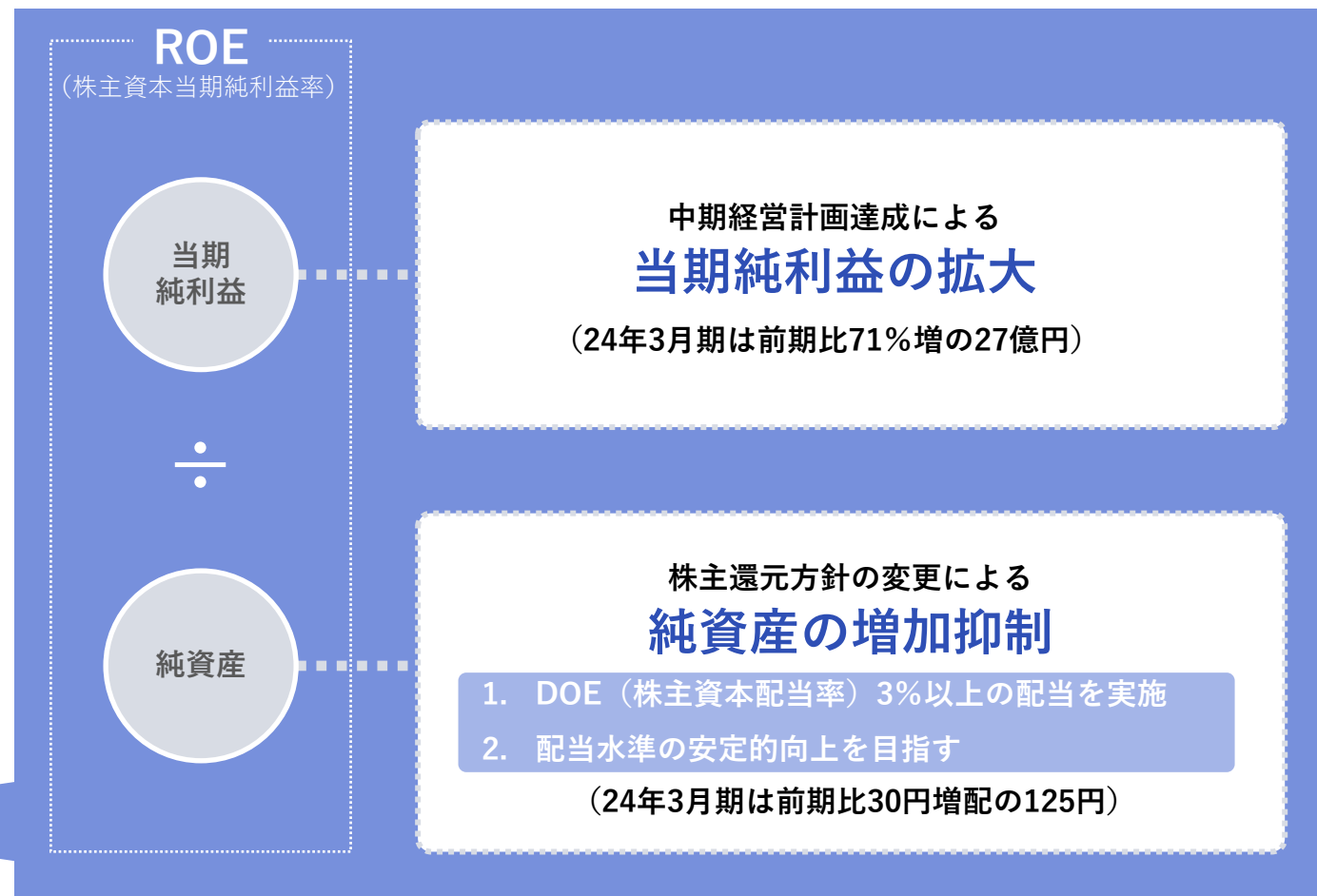
3～6%

売上高営業益率

7～10%

ROE

5～8%
(2023年3月期4.5%)



2024年3月期 決算概要説明

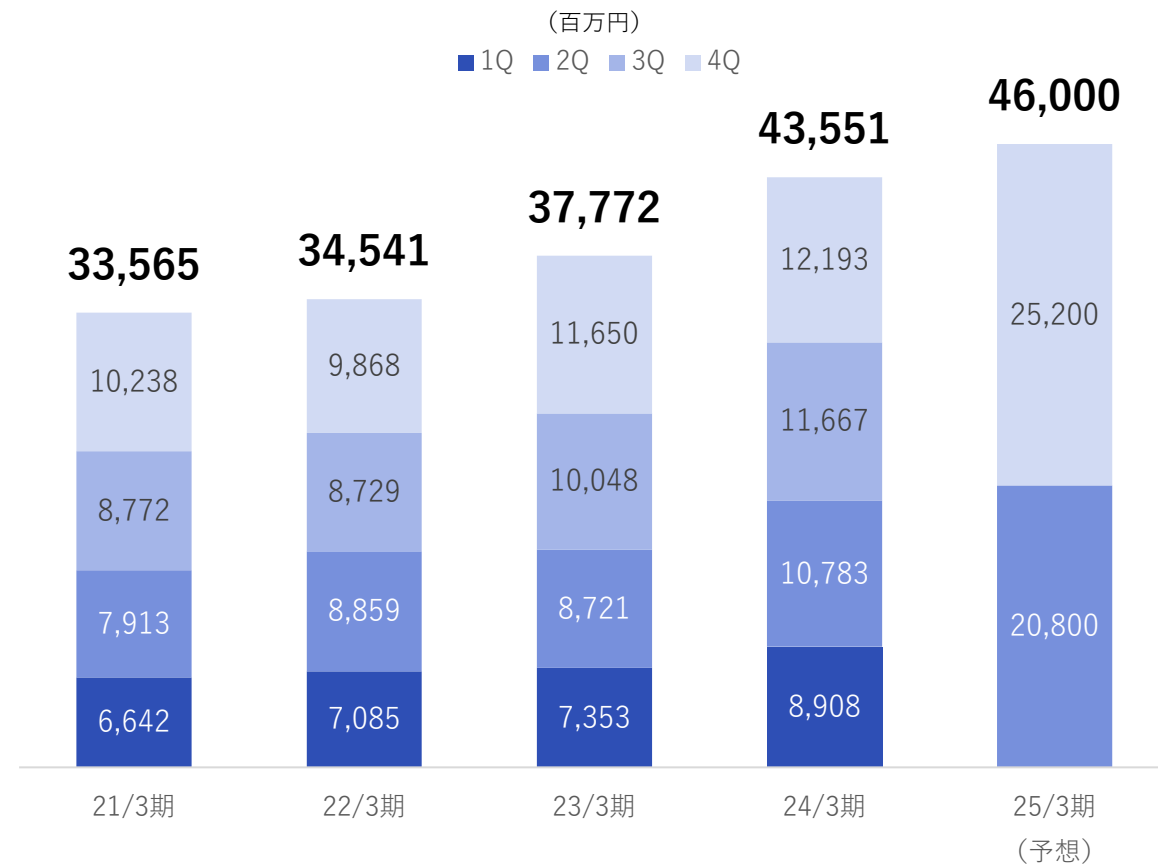
Appendix

IRの実施状況	<ul style="list-style-type: none">2023年3月期2Qより、決算説明資料の開示ならびに決算説明動画を配信2023年3月期には決算説明資料ならびに中期経営計画資料を開示、決算説明会を実施2024年3月期より、2Qと4Qの決算説明資料開示に加えて、各四半期で決算補足資料を開示
株主との会話の対応者 対応回数	代表取締役社長 加納 慎也 IRを強化した効果もあり、機関投資家とのミーティングは2023年3月期の8件から2024年3月期は28件に増加
対話の主なテーマや株主への 関心事項	事業概要／決算概要 中期経営計画の詳細 当社の競争優位性／中長期的な競争戦略 資本政策、PBR1倍に向けた取り組み サステナビリティへの取組み等
経営陣や取締役会に対する 実施状況	社長自身が機関投資家と対話をしており、他の取締役に適宜フィードバック
フィードバックを踏まえて 取り入れた事項	<ul style="list-style-type: none">決算発表と同時に決算補足説明資料もHPに掲載決算説明資料や決算補足説明資料に決算サマリーを入れて、決算情報を見やすく改善

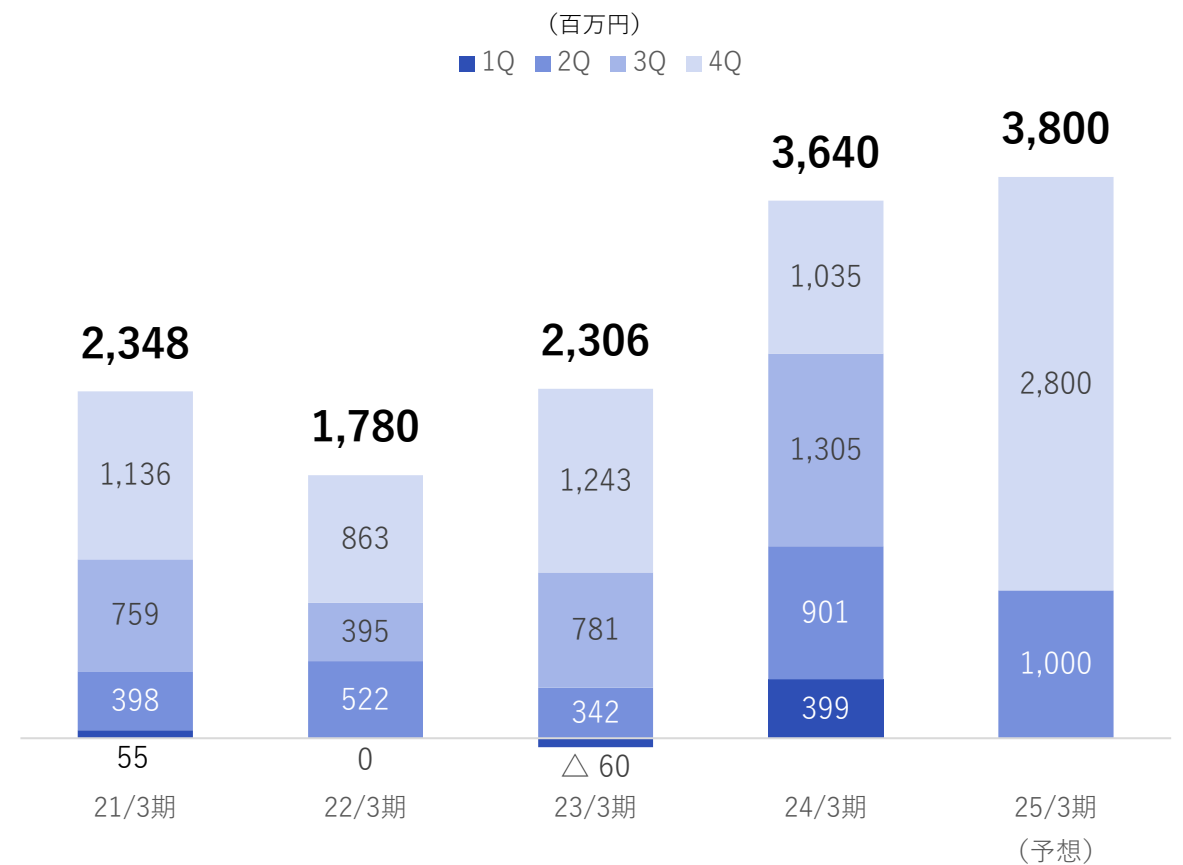
四半期業績推移

- 2024年3月期は売上高はオフィス向けの好調などから四半期を通じて増収、営業利益は4Qは人件費や物流コスト上昇等により減益
- 25年3月期2Q累計は新築ビル向けの端境期により増収率が鈍化、物流コスト等の影響により営業減益を予想するものの、新築ビルが回復する下期は増収効果により営業増益に転じ、通期でも増収増益を予想

四半期売上高



四半期営業利益



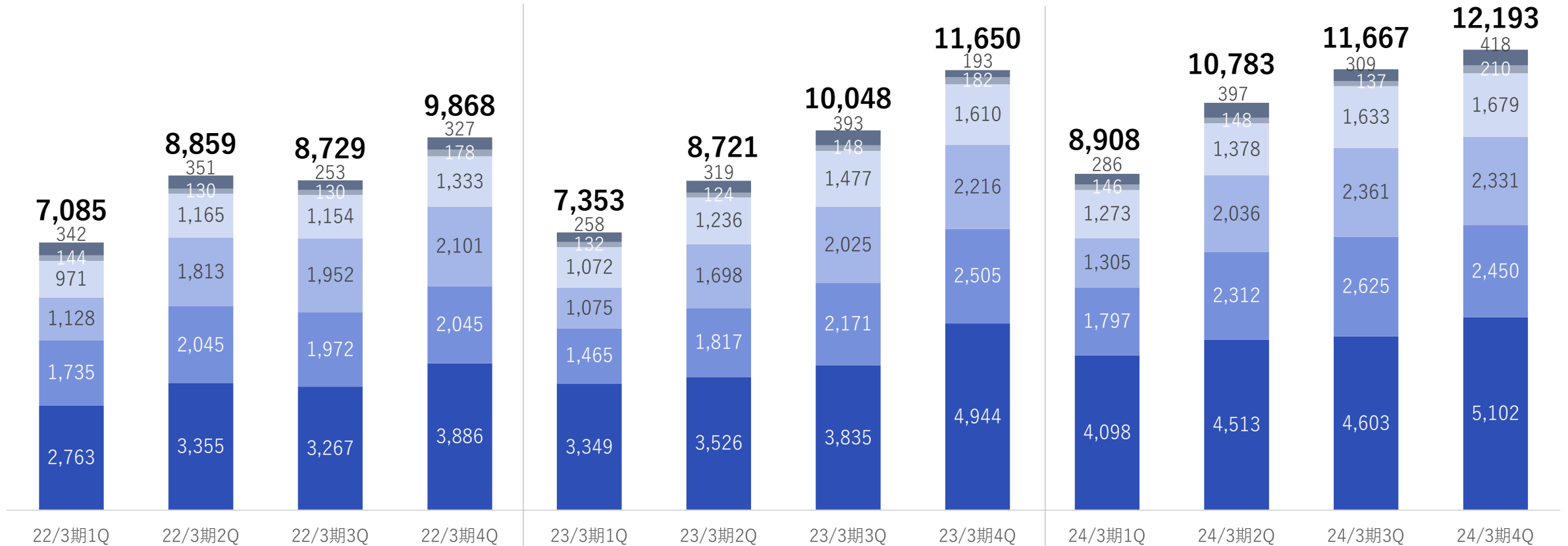
四半期品目別売上高推移

■ 2024年3月期4Qの売上高は可動間仕切や移動間仕切がオフィス向けを中心に堅調に推移、軽量ドアなど固定間仕切は前4Qが好調だった反動で減収となったが、下期で見れば前年同期比増収

品目別売上高

(百万円)

■ 可動間仕切 ■ 固定間仕切 ■ トイレブース ■ 移動間仕切 ■ ロー間仕切 ■ その他



貸借対照表

■ 増益に伴い現預金と純資産が増加

単位：百万円	2022年3月期末	2023年3月期末	2024年3月期末	前期末差
流動資産	27,472	29,999	32,539	2,540
現預金	15,335	15,579	17,640	2,061
売上債権	11,115	13,181	13,615	434
棚卸資産	818	1,023	1,123	100
固定資産	14,670	14,760	14,915	155
有形固定資産	11,918	11,922	11,767	△155
無形固定資産	450	420	385	△35
投資その他の資産	2,300	2,418	2,763	345
総資産	42,143	44,760	47,455	2,695
負債	6,743	8,535	9,388	853
買掛金	1,956	2,345	2,350	5
有利子負債	0	0	0	0
純資産	35,399	36,225	38,067	1,842
負債純資産合計	42,143	44,760	47,455	2,695

キャッシュ・フロー計算書

■ 増益により営業キャッシュ・フローは4,273百万円、フリーキャッシュフローも3,102百万円のプラス

■ 増配に伴い配当金の支払額は増加したが、期末現預金は13,521百万円と前期比でも2,045百万円増加

単位：百万円	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	前期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,871	1,676	4,273	2,597
税引前当期純利益	1,847	2,446	3,744	1,298
減価償却費	1,070	1,073	1,127	54
売上債権の増減額 (△は増加)	563	△2,064	△434	1,630
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△160	△204	△99	105
仕入債務の増減額 (△は減少)	134	389	4	△385
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,535	△636	△1,171	△535
有形固定資産の取得による支出	△847	△583	△916	△333
定期預金の預入・払戻による支出入	△600	0	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△805	△810	△1,056	△246
配当金の支払額	△805	△804	△1,041	△237
現金及び現金同等物の期末残高	11,246	11,476	13,521	2,045
フリーキャッシュ・フロー	1,336	1,040	3,102	2,062

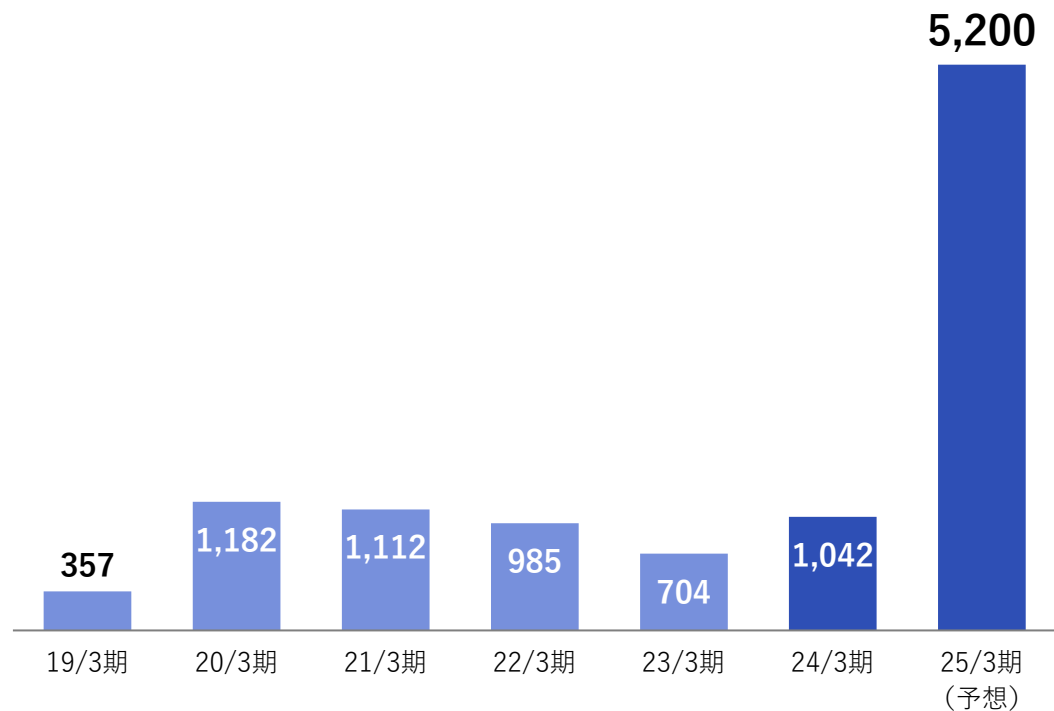
設備投資、減価償却費

■ 2024年3月期は名古屋ショールームへの投資や既存機械設備の維持更新等で1,042百万円の設備投資を実施

■ 2025年3月期は加賀工場2号棟建設、東京や大阪ショールームへの投資等で5,200百万円の設備投資を計画

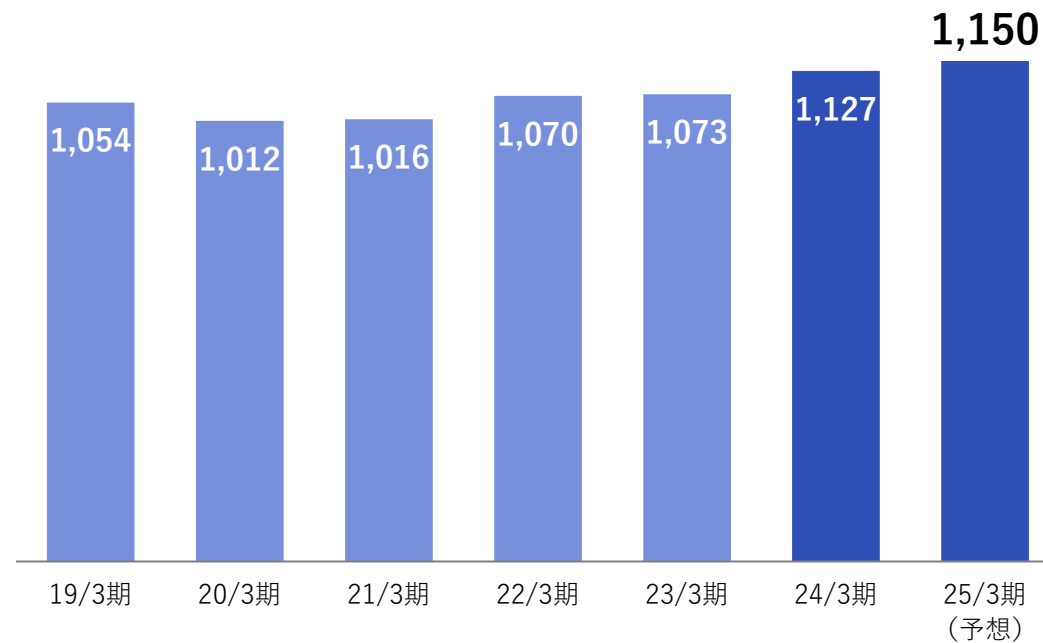
設備投資

(百万円)



減価償却費

(百万円)



■ 前期に作成したマテリアリティを一部見直した。特定したマテリアリティに基づき、マテリアリティ経営を推進する

	マテリアリティ	テーマ	関連するSDGs
E	持続可能な循環型社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルに向けた取り組み 再生可能エネルギーの利用 廃棄物削減と資源の有効活用 	
	製品を通じた気候変動対応への貢献	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ製品対応に向けた製品開発・改良 	
S	人材開発	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成の強化 	
	Well-being	<ul style="list-style-type: none"> エンゲージメントの向上 働きがいの向上、ワークライフバランス、健康推進 人権・多様性の尊重と多様な人材の活躍 (ダイバシティ・エクイティ&インクルージョン) 	
	DX推進と生産性の向上	<ul style="list-style-type: none"> デジタルデータの活用と社内業務の協働によるビジネスモデルの構築 	
	ステークホルダーエンゲージメント	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップの発揮 サプライヤーとの共存共栄 顧客満足・信頼の追求 	
G	ガバナンスの更なる改革	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンスの徹底 組織体制の全体最適化 	
	リスクマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 災害対策、リスク管理体制の強化 	

工場

■ 石川県小松市、加賀市の4工場の間仕切・トイレブース・ドアを製造

第三工場

可動間仕切の製造



加賀工場

ドアの製造



第一工場

移動間仕切の製造



本社・第二工場

本社及び
トイレブースの製造

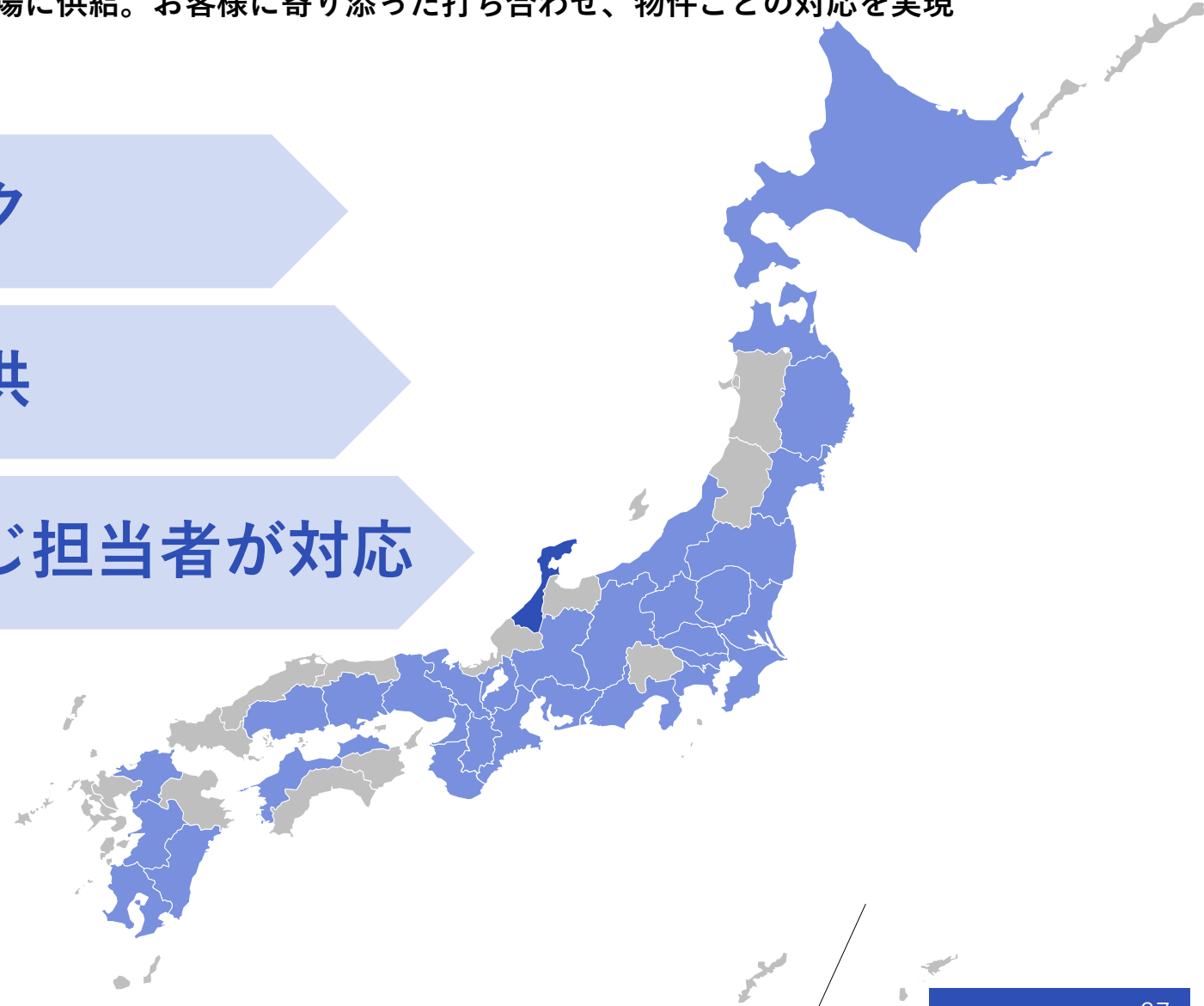


■ 全国に53拠点の支店を配置、全国に安定した納期、品質で市場に供給。お客様に寄り添った打ち合わせ、物件ごとの対応を実現

■ 地域での強いネットワーク

■ オーダーメイド品の提供

■ 受注から施工まで同じ担当者が対応



*青色の都道府県には支店を設置

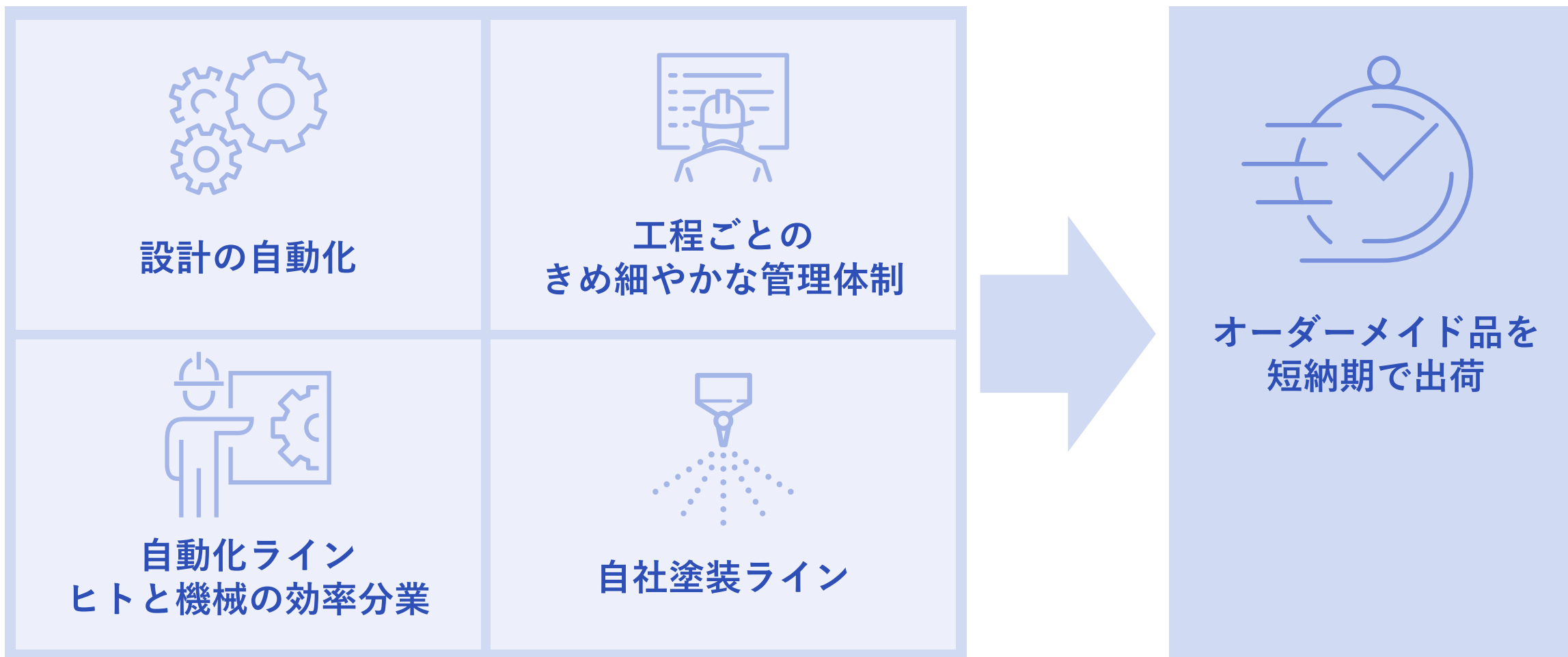
オーダーメイド対応へのこだわり

■ 自社開発品の提案のみならず、設計事務所などからの要望に沿った製品も開発・設計



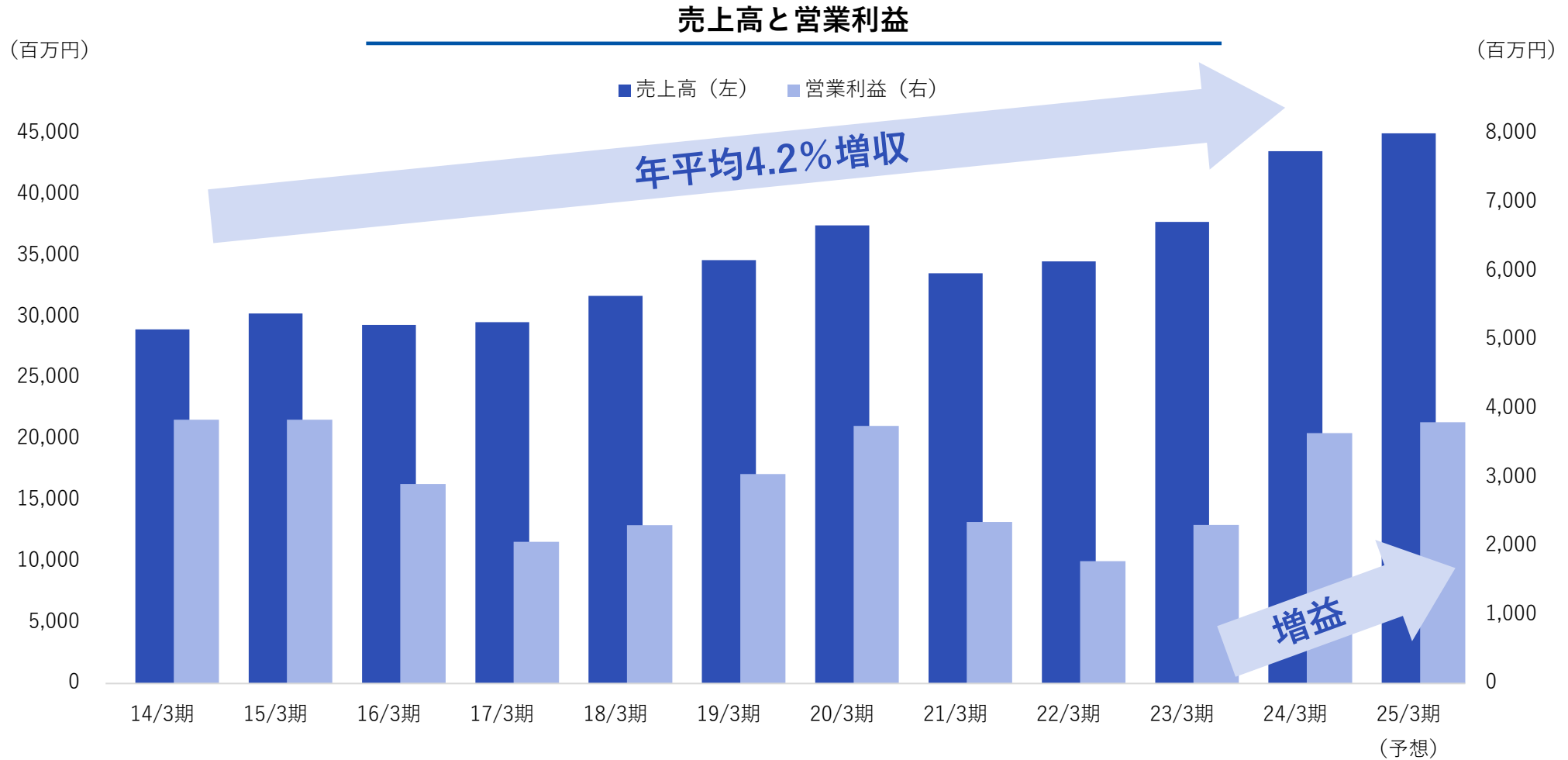
オーダーメイドを短納期で成し遂げる生産ライン

■ 小ロット多品種生産ができる仕組みを作り、オーダーメイド品を効率的に生産。受注から出荷まで3~4週間で対応

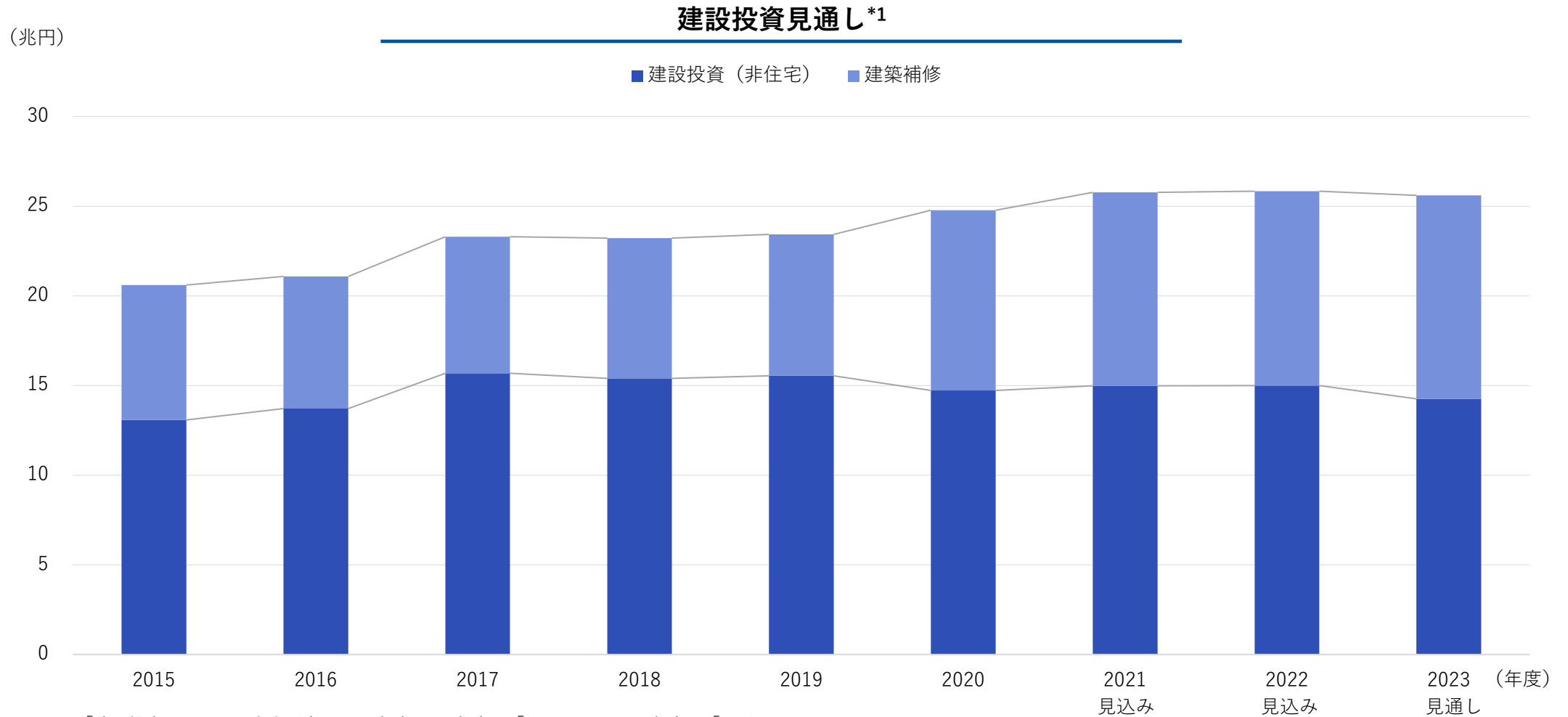


■ 間仕切需要拡大に伴い、売上高は2024年3月期まで過去10年間で年平均4.2%増収

■ 営業利益はオフィス向け好調による増収や軽量ドア・トイレブースでの原材料上昇分の価格転嫁等で、2024年3月期は57.8%増益



■ 非住宅の建設投資は2023年度は新築は減少予想だが建設補修の増加により、トータルではほぼ前年度並み





小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

お問合せ先

小松ウォール工業株式会社
総務部

TEL 0761-21-3131(代表)

https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。